年度 2007　学期 前期	曜日･校時 金 2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語 III German III		
対象年次 2 年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 2P18･19		科目分類 外国語科目(ドイツ語)	

担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー
担当教員: 目 正勝 /Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:m79sakka@aol.com /研究室: (非常勤講師室)

担当教員(オムニバス科目等)	

授業のねらい: 文法の基礎をさらに確実なものにして、応用段階へと進む。ドイツ語文の読解力や語彙を身につける。テキストを朗読することによる発音練習。

授業方法: 主として物語文のドイツ語を読む。
年間を通じて 2 冊のテキストを使う。前期は中級ドイツ語への橋渡し的なもので、文法の再確認と平易なドイツ語文章の読解を内容としている。教室では、毎回 4〜5 人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこなければならない。
後期は、短くまとめられたドイツの伝説、歴史などの文章を読む。比較的平易なドイツ語文なので、どんどん読み進むことができる。多読の楽しさを味わうことができるだろう。

授業到達目標: 辞書を引きながらでも、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ概ね読むことができるまでに力をつけること。

授業内容(概要)

『グリム童話で学ぶドイツ語 PartⅡ』 を使用。

第1回、第2回、第3回…… 第 1 章 Die Bremer Stadtmusikanten、格変化の再確認、文の構造の把握など。

第4回、第5回、第6回…… 第 2 章 Die Räuberbräutigam、動詞の三基本形、現在完了再確認、文の構造の把握など。

第7回、第8回、第9回…… 第 3 章 Hans mein Igel、応用段階の接続法、また物語文の読解など。

第10回、第11回、第12回…… 第 4 章 König Drosselbart、応用段階の従属の接続詞、zu 不定詞、また物語文の読解。

第13回、第14回…… 同上、および巻末練習問題。

第15回 定期試験

キーワード	
教科書･教材･参考書	教科書: (前期)『グリム童話で学ぶドイツ語 PartⅡ』 本橋右京 他編 郁文堂
成績評価の方法･基準等	○定期試験(約 90%)、および平素の学習成績、授業への積極的な参加状況(約 10%)を考慮して総合的に評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ/学習･教育目標	
備考(準備学習等)	